

つなぐ

Vol.67

2024.1月



2023年12月、僧帽弁閉鎖不全に
対する新たなデバイスが保険償還さ
れた。

僧帽弁閉鎖不全症は、左心房と左心
室の間に位置する弁が正常に閉じな
くなり、血液が逆流してしまう状態
をいう。僧帽弁閉鎖不全に対する経
皮的僧帽弁クリップ術の第一症例を
迎えたのは2018年4月3日。従
来の僧帽弁閉鎖不全症の選択肢は
薬物療法と外科手術。外科手術は重
症な僧帽弁閉鎖不全症の患者さん
には有効な治療法がなかったが、こ
の経皮的僧帽弁クリップ術の登場で外

科手術によるリスクが高い患者さん
にも選択肢が広がり、大きな前進と
なった。この第二症例を迎えはや5年
8ヶ月。治療件数は368件にのぼ
る。(2023年11月30日現在)

そこで登場した新たな製品
「PASCAL Precision
システム(以下、PASCAL)」は、
僧帽弁閉鎖不全症の中でも、器質性
僧帽弁閉鎖不全症に対しての適応
を取得している。従来の製品と同様、
PASCALは脚の静脈から管を
入れ、心臓の壁に小さな穴を作り、
左心房から直接僧帽弁を「クリップ」
ではさみ込み、逆流を減らす治療方

法で使用される。PASCALの特
長は、材質がニチノール※であり、僧帽
弁の構造に沿うように心臓のリズム
に合わせて追従した動きを実現する
ことができることだ。

重症な器質性僧帽弁閉鎖不全症の
患者さんの治療の選択肢が当院でま
た一つ増えた。新デバイス導入は、診
断・治療の精度向上や患者ケアの効
率化につながる。私たちはこれからも
最新の医療技術を積極的に導入し、
患者さんへ最高の医療を提供できる
よう進み続ける。



第75回

小倉循環器内科セミナー

2024年 1月18日(木) 18:00~18:30開催



PCI 後の抗血栓療法 STPDAPT シリーズの臨床試験からの知見

座長 小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師 国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 院長 木村剛 先生

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

